

作成日 2018/03/08
改定日 2026/08/31

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	業務用手洗い洗浄剤
製品コード	HCAL-ECO
供給者の会社名称	株式会社ミスミ
住所	〒102-8583 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス
担当部門	ファクトリーサプライ事業部
電話番号	03-6773-7430
推奨用途	ハンドクリーナー(化粧品)
使用上の制限	推奨用途以外でのご使用はご遠慮ください。

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入:気体) 区分に該当しない(分類対象外)
-------	---

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1
呼吸器感作性 分類できない
皮膚感作性 分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない
発がん性 区分1A
生殖毒性 区分1A
生殖毒性・授乳影響 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(血液系 中枢神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓 呼吸器 中枢神経系)

環境有害性	誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 分類できない 水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない オゾン層への有害性 分類できない
-------	---

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H318 重篤な眼の損傷 H350 発がんのおそれ H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ H371 血液系、中枢神経系の障害のおそれ H373 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、呼吸器、中枢神経系の障害のおそれ

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
(P270)

応急措置	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 (P280)
	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
保管 廃棄	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
	直ちに医師に連絡すること。(P310)
	気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
	施錠して保管すること。(P405) 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分名(化粧品表示名称)又は一般名	含有率 (%)	化管法 ⁽¹⁾	化審法 ⁽²⁾	安衛法 ⁽³⁾	CAS番号
水	非公開	—	—	整理番号なし	7732-18-5
PPG-3ラウレス-9	非公開	—	非公開	既存	非公開
トウモロコシ穂軸	非公開	—	—	整理番号なし	非公開
エタノール	1.0 - 5.0	—	(2)-202	既存	64-17-5
PG	1.0 - 5.0	—	(2)-234	既存	57-55-6
PEG／PPG-5／30コポリマー	非公開	—	非公開	既存	非公開
トウモロコシエキス	非公開	—	—	既存	非公開
アロエベラ葉エキス	非公開	—	—	既存	非公開
カミツレ花エキス	非公開	—	—	既存	非公開
BG	非公開	—	非公開	既存	非公開
キサンタンガム	非公開	—	非公開	既存	非公開
(アクリレート／アクリル酸アルキル(C10-30))クロスポリマー	非公開	—	非公開	公表	非公開
カルボマー	0.1-1.0	8*	(6)-898	既存	9003-01-4
シクロペンタシロキサソ	非公開	—	(7)-475	既存	541-02-6
EDTA-2Na	1.0未満	80*	非公開	既存	139-33-3
水酸化Na	1.0未満	—	(1)-410	既存	1310-73-2
硫酸Mg	非公開	—	非公開	既存	非公開
カタラーゼ	非公開	—	非公開	既存	非公開
フェノキシエタノール	1.0未満	—	(3)-558	既存	122-99-6
メチルクロロイソチアゾリノン	0.1未満	—	非公開	既存	非公開
メチルイソチアゾリノン	0.1未満	—	非公開	既存	非公開
香料	非公開	—	非公開	既存	非公開
黄4	0.1未満	—	(5)-1402	既存	1934-21-0
青1	0.1未満	—	(5)-1732	既存	3844-45-9

*: 対象となる濃度下限値(裾切値)未満のため該当しない

1) 法令指定番号 2)、3)官報公示整理番号

4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
眼に入った場合	直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。

情報なし

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

漏出物を河川や下水に直接流してはいけな

漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

保管

接触回避

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
エタノール(ACGIH)	未設定	未設定	TLV-STEL 1,000ppm(2009)

厚生労働大臣が定める濃度の基準		
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値

エタノール(ACGIH)	未設定	未設定
--------------	-----	-----

設備対策 蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具 呼吸用保護具 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
 手の保護具 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。
 眼、顔面の保護具 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
 皮膚及び身体の保護具 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体
 形状 ペースト
 色 緑色不透明ペースト(スクラブ粒子入り)
 臭い わずかに芳香臭
 融点／凝固点 データなし
 沸点又は初留点及び沸点範囲 データなし
 可燃性 なし
 爆発下限界及び爆発上限界 下限 データなし
 可燃限界 上限 データなし
 引火点 引火せず
 自然発火点 データなし
 分解温度 データなし
 pH 6.3(代表値)
 動粘性率 12,000 mm²/s(代表値)
 溶解度 水溶性(スクラブ粒子は不溶)
 n-オクタノール／水分配係数 該当しない
 蒸気圧 データなし
 密度及び／又は相対密度 0.99(代表値)
 相対ガス密度 データなし
 粒子特性 該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性 通常の条件では安定。
 化学的安定性 通常の条件では安定。
 危険有害反応可能性 強酸化剤との接触を避ける。
 避けるべき条件 高温(40℃以上)になる場所、直射日光の当たる場所、凍結のおそれのある場所で保管しない。
 混触危険物質 ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
 危険有害な分解生成物 現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 経口 急性毒性推定値が208628.0699612mg/kgのため区分に該当しないとした。
 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
 経皮 急性毒性推定値が494499.68mg/kgのため区分に該当しないとした。
 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
 吸入 (気体)
 GHS定義による気体ではない。
 (蒸気)

	急性毒性推定値が50000ppm超のため区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	(粉じん・ミスト)
	急性毒性推定値が12.5mg/l超のため区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚腐食性／皮膚刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
呼吸器感受性	眼区分1の成分合計が7.4%のため、区分1とした。
	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚感受性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖細胞変異原性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性	区分1Aの成分が3.728%のため、区分1Aとした。
生殖毒性	※区分2は0.34%含まれる。
	(生殖毒性)
	区分1Aの成分が3.728%のため、区分1Aとした。
	(生殖毒性・授乳影響)
	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(血液系)の成分が1%のため、区分2(血液系)とした。
	区分1(中枢神経系)の成分が1%のため、区分2(中枢神経系)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肝臓)の成分が3.728%のため、区分2(肝臓)とした。
	区分1(呼吸器)の成分が1%のため、区分2(呼吸器)とした。
	区分1(中枢神経系)の成分が1%のため、区分2(中枢神経系)とした。
	※区分2(中枢神経系)は3.728%含まれる。
誤えん有害性	動粘性率が12000mm ² /s(40℃)のため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。
	毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性	データなし

残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to MARPOL
73/78, Annex II, the
IBC Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附属
書II 及びIBC コードに
よるばら積み輸送され
る液体物質

非該当
消防法の規定に従う。
非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

エタノール
プロピレングリコール

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

エタノール(安衛則別表第2の番号:205)(5%未満)
(営業秘密)

プロピレングリコール(安衛則別表第2の番号:1786)
(5%未満)(営業秘密)

腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)

労働安全衛生法(表示・通知
対象物質、がん原性物質)
(令和9年施行分)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

エタノール
プロピレングリコール

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

アクリル酸重合物及びそのナトリウム塩(安衛則別表第2の番号:11の2)(5%未満)(営業秘密)

	エタノール(安衛則別表第2の番号:205)(5%未満) (営業秘密)
	プロピレングリコール(安衛則別表第2の番号:1786) (5%未満)(営業秘密)
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進 法(PRTR法)	非該当
化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
消防法	非危険物
水質汚濁防止法	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
特定有害廃棄物輸出入規制 法(バーゼル法)	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月 18日省令第12号)
16. その他の情報	
参考文献	原料メーカーSDS 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情 報提供システム」データベース(CHRIP) 厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデル SDS」
その他	記載内容の取扱い 記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成してありま すが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十 分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任 において、安全な使用条件を設定くださるようお願いしま す。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたもので すので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用 法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。また、 記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂することが あります。